

## 東アジアジュニアワークショップ 2013 感想

額田聖菜 京都大学

## 1. フィールドワークに関して

予想通りの暑い中でしたが、大きく体調を崩す人が居なくてよかったです。

トピックも、原発、天皇制、在日コリアン、旧同和地区と扱いが難しいトピックが多かったですが、関係がこじれることは全くなく、むしろしっかり話し合えてよかったです。

NTU や SNU の学生さんから、知らないことが多くて、とても面白かったという感想もいただきました。私にとっても、日本のことについて改めて詳しく学ぶ機会になり、海外とも比較することができ、とてもよい体験だったと思います。今後も関心を持って考えていきたいと思っています。

## 2. ワークショップに関して

今年もすごく盛り上がっていたように思います。

NTU や SNU の学生は、発表の内容も、パワーポイントも濃かったです。

今回 NTU の学生に話を聞いたところ、学部生時代はほぼどの授業でも学期末に英語でのプレゼンがあったそうです。来年はさらにパワーアップして、もっと質問にも力を入れて頑張りたいです。

## 3. 受け入れなど準備に関して

思っていた以上に準備は大変でした。

メインの学生の数はもう 2,3 人は必要だったように感じました。

今年は案内する人数が多かったのも、各自に補足する必要がある場面も多く、自分の担当範囲でないところも、しっかり英語で頭に入れておくべきだったと反省しました。

ホテルへの pickup の面を考えると、各大学で同じホテルのほうがホスト側としては楽かもしれません。支援室の方々がたくさんお手伝いしてくださったおかげで、ワークショップの期間、ワークショップに集中することができました。ありがとうございました。